

研究プレスリリースの手順

意義

- ・ 研究プレスリリースとは、研究成果についての記事を書いてほしいという**ジャーナリスト**への招待状です。
- ・ 記者に発信し、記事にしてもらうことで、**研究結果の社会的インパクトを高めることができます**。研究者や企業の目に留まった場合は、共同研究や共同開発の誘いを受ける可能性が高まります。**SNS**等で二次拡散されると、年代、性別、職業問わず、研究内容や意義を広く知ってもらえます。
- ・ 将来的にさらなる報道につながることもあり、**専門家としての知名度が向上することになります**。

研究プレスリリースとは

国内のプレスリリースは、英語の研究論文にアクセスできない日本のジャーナリストに対して、研究成果に関する詳細な情報を提供します。

研究の背景、内容、成果、今後の展開等の詳細な情報を、論文の内容も踏まえて分かりやすく簡潔にまとめます。

記者の目に留まることに加えて、今回の研究成果の全体像が満遍なく理解できることをポイントに原稿を作成します。

原稿は**研究者**が書き、広報課のプレスリリース担当者が確認します。

国際的なプレスリリースは、ジャーナリストの注目を集め、ジャーナリストに論文を参照してもらえるよう誘導するのが目的です。

研究成果を簡潔にまとめた要約に研究者の個人的なコメントを加え、全世界から配信されるニュースの中でいかに記者の目を引くかということのポイントに原稿を作成します。

原稿は**広報課の科学コミュニケーター**が書き、研究者が確認します。

重要なポイント



国内プレスリリース（日本語）と国際プレスリリース（英語）は**文章の構成が異なりますが、統合されたプロセス**であり、配信日時は、国内リリースと国際リリースの同時配信を基本としています。



プレスリリースは、記者にとってわかりやすい要約として書かれます。専門用語は使わず、**一般人（高校生）が読んで分かる程度に簡単な言葉**で書いてください。



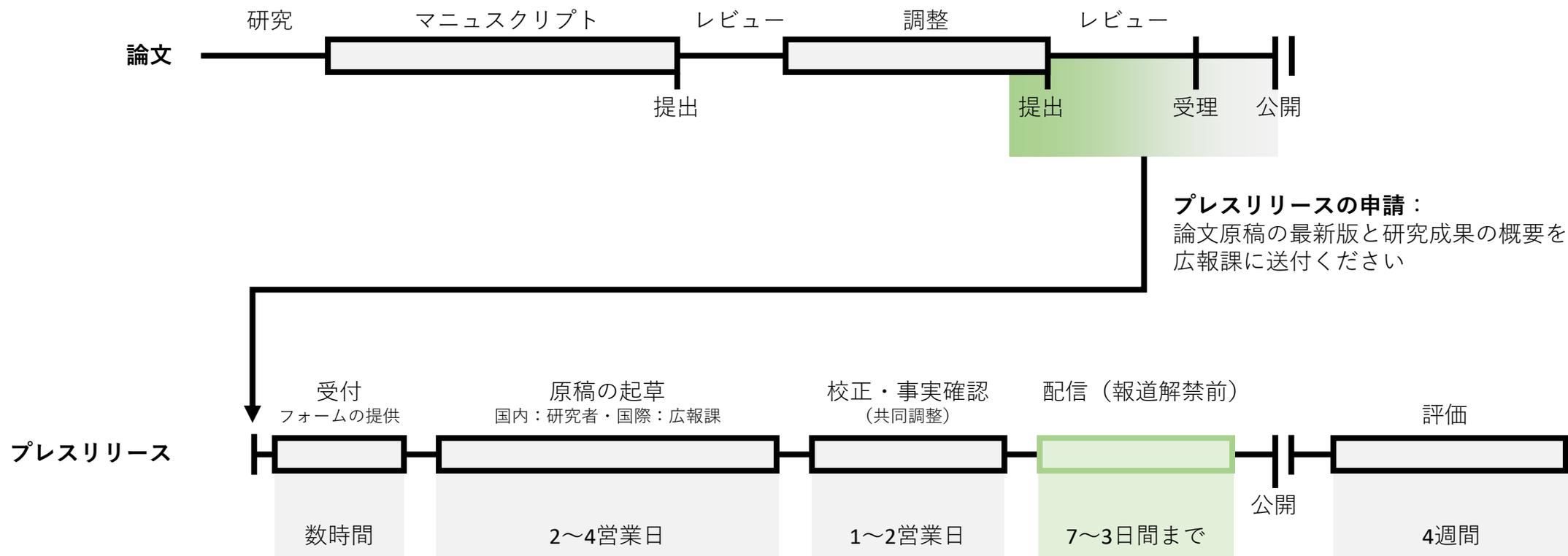
高画質で**アイキャッチな画像**を掲載することで、記者の注目を集める可能性が高まります。画像は全て第三者が使用できるものを提供してください。



プレスリリースは**論文公開の約1週間前**を目指していますので、できるだけ早くプレスリリースを準備することをお勧めします。

タイムライン

論文公開の1週間（遅くとも2、3日）前に記者に配信できるように、プレスリリースを準備することをお勧めします。論文公開後のプレスリリースも可能ですが、その影響力はおそらく著しく低くなることをご承知おきください。



※注意：これは理想的な流れをイメージしたものであり、目安です。調整に要する日数などは状況によりこのとおりではないこともあります。

ステップ1：申請方法

プレスリリースには2つの方法があります：

1 研究者からの申請：プレスリリースに値する研究成果が出た際は、**まずは広報課までご一報ください。**以下のポイントを確認させていただき、リリースの準備を行います。

2 推薦：研究科長や各研究科広報委員の推薦に基づき、個々の研究者にプレスリリースを執筆していただきます。場合によっては、広報課から部局の広報委員へ推薦依頼をお送りすることもあります。

- 研究プレスリリースの対象は、イベント、助成金、教科書出版などではなく、個々の研究成果。
- 論文の公開が差し迫っている（受理されそうな・受理された・公開されそうな）こと。
- 第一著者、責任著者、研究代表者のいずれかの主な所属が神戸大学であること。

タイミング

出版が間近に迫っていると確信されましたら、すぐにご連絡ください：

- 受理されそうな原稿を投稿する際
- 受理され次第
- 遅くとも論文が発表された直後

論文が公開されている場合にはご相談ください。

提出物（申請時）

以下の書類をご提出ください：

- 最新版の論文
- 研究成果の要約（プレスリリースの概要にも使用可能）

その際、他の大学や研究機関等（国内外）と**共同リリース**されるかどうかご報告ください。

プレスリリースは主に本学の研究者のための支援であり、可能な限りご要望にお応えするよう努めております。しかし、リソースに限りがあるため、他のプレスリリースのスケジュール、プレスリリースに含まれる研究分野やグループのバランス、国内外のメディアの関心の可能性によって、プレスリリースの選択・タイミングを調整する可能性があることをご了承ください。

ステップ2：原稿の起草

国内プレスリリース

研究者が作成します。研究リリース用テンプレートがありますので、広報課からお送りします。原稿が完成次第、広報課担当者へご提出ください。

共同プレスリリース（国内）

- **主となる研究者の主な所属が神戸大学である場合：**
→原稿を作成ください。共同配信する研究者がいる場合は、研究者間での原稿内容の調整をお願いします。完成次第、広報課担当者へお送りください。その際、共同リリース機関の広報部門の連絡先をお知らせください。
- **主となる研究者が複数いる場合：**
→国内のプレスリリースと海外のプレスリリースをどの機関で取りまとめるかについては、研究者間で調整してください。不明な点は広報課にご相談ください。
- **主となる研究者の所属が神戸大学ではない場合：**
→主となる研究者が原稿を作成します。その後、原稿作成者の所属機関の広報部門と、本学広報課で最終確認します。先生から本学広報課へ原稿をご提出いただく必要はありません。

国際プレスリリース

科学コミュニケーターが作成します。必要に応じて、内容についていくつか質問をさせていただきます。

共同プレスリリース（国際）

- 基本的には国際プレスリリースでは共同でプレスリリースを行わず、主となる機関が配信することが多いですが、各大学が独自の貢献を強調する**リリース**を配信することもあります。その場合、**自大学の研究者が貢献した側面**に焦点を当てます。
- また、海外の大学・機関との共同研究成果が出た場合、海外大学が英語リリースを担当し、神戸大学が日本語リリースを担当する役割分担でリリースを行うことがあります。その場合、お互いのリリースに広報担当・研究担当の連絡先を掲載します。
- いずれの場合も、リリース内容やタイミングについてお互い連携を取りながらリリースを行います。

ステップ3：校正・調整期間

国内プレスリリース

広報課はご提出されたプレスリリースの文章を確認し、校正を提案することがあります。最終版は研究者によって承認されます。

国際プレスリリース

科学コミュニケーターが作成した原稿の最終版は、科学的に正確かどうか、また研究者のコメントの引用の正確さについて、研究者に確認いただきます。

この時点で、DOI や正確な配信日時の調整などの確認を行います。

ジャーナルによっては、**論文公開日時を調整できる場合もあります**ので、**報道解禁付きで配信できるよう**、研究者がジャーナル・エディターに連絡をとって調整してください。

ステップ4：リリース

報道解禁と公開

- 確定したプレスリリース原稿は、研究内容に応じた（国内の）記者クラブ、および（海外の）プレス配信プラットフォーム「Alpha Galileo」および「EurekAlert!」を通して、国内外の記者に配信します。
- **論文公開の1週間（遅くとも2、3日）前に記者に配信できるよう**、プレスリリースを準備することをお勧めします。
（報道解禁設定のあるリリースは、論文公開前に記事、ビデオ、その他のいかなる形のコメントも一般向けに報道されることはありません）
- 解禁日を過ぎたプレスリリースの影響力は著しく低くなるため、報道解禁付きでのリリースが大事ですが、**解禁日を過ぎた場合でもまずは広報課にご連絡ください。**
（※注意：国際的な配信プラットフォームでは、論文の公開から90日以上経過したプレスリリースは認められていません）
- 報道解禁方針については研究者がジャーナルにご確認いただき、広報課にお知らせください。
- 記者への配信後、記者は研究者へ連絡を取り、研究に対するコメントやその他の情報を要求することがありますので、ご対応をお願いします。共同研究者が複数いる場合はご自身が代表窓口となるのか、各々で問合せを受けるのか、予め研究者間で調整ください。

一般配布

論文が一般に公開され、報道解禁が解除されたら、大学のウェブサイトにプレスリリースを掲載し、SNSで発表します。研究者は、投稿を仲間と共有したり、コメントしたりすることで、投稿されたSNSへの影響を増幅させることにご協力をお願いします。

ステップ5：評価

プレスリリース配信の4週間後に研究者へアンケートをお送りします。
配信後4週間の間に、**メディアからどの程度問い合わせがあったか等を伺うアンケート**です。
1～2分程度ですので回答へのご協力をお願いいたします。

その際、国際プレスリリースについては、**メディアでの掲載状況の追跡情報**（4週間分）を研究者へご報告
します。

原稿の構成

国内プレスリリース（研究者が作成）

タイトル

1行におさまる程度。キャッチーで、研究の本質を捉えていること。

リード文

A4半分程度まで。研究成果の新規性と社会への関連性等の簡潔な要約。

画像と動画

1～5枚。アイキャッチとなるような研究内容のイメージ画像。研究の成果を説明する表・図があってもOK。報道が自由に使用でき、高解像度であること。

ポイント

3つ程度。今後役立つメディア・一般の方の興味を引きやすい研究成果

本文

A4で1～2枚程度。高校生に伝えるレベルにかみ砕き、簡潔に記す。
構成：背景・内容・今後の展開をそれぞれの項目ごとに簡潔にまとめる。
専門的な用語には補足・用語説明を。

用語解説

本文中で一般には分かりにくいと思われる専門用語等の解説。

謝辞

記載の必要な援助等を受けている場合に記入。

研究者の連絡先

研究者の所属と連絡先を記載すること。

論文情報

タイトル・著者・掲載誌

国際プレスリリース（科学コミュニケーターが作成）

タイトル

7～10語。キャッチーで、研究の本質を捉えていること。

リード文

70語以内。研究成果の新規性と社会への関連性等の簡潔な要約。

画像と動画

アイキャッチとなるような研究内容のイメージ画像。加えて研究の成果を説明する表や図を使用することもある。報道が自由に使用でき、高解像度であること。

本文

400～800語。高校生レベルの研究成果の説明。
・ 構成：背景、研究アプローチの新規性、成果、今後の展開や汎用性を要約。
・ 親近感を持たせるために、研究者の個人的なコメントを随所に入れる。

謝辞

記載の必要な援助等を受けている場合に記入。

ボイラープレート

大学の簡単な紹介

研究者の連絡先

研究者の所属と連絡先を記載すること。

論文情報

タイトル・著者・掲載誌